



広小学校だより

平成24年
12月17日
第17号

校内マラソン大会 沿道の声援をうけて全員完走！



十二月十一日、晴天とはいえ冷たい風が吹く中、広小学校の校内マラソン大会を開催しました。

例年と同じコース、学校から八幡神社方面へ、低学年は八百メートル、中学年は千百メートル、高学年は



約二千二百メートルを走ります。このマラソン大会の目的は「体力にあつた走り方で長く走る力を養う」です。順位ももちろん大切ですが、自分のベストを尽くして走り抜くことをより大切にしようというものです。



その点では、出場した子どもたち全員が決められたコースを走り抜くことができました。もちろんトップでゴールする子もいれば、何とかゴールできたという様子の子もいます。それでもがんばっ

赤い羽根募金

児童会が「赤い羽根募金」に取り組んでいます。児童会役員が毎朝校門で、登校してくる子どもたちに「赤い羽根の募金をお願いします」と募金箱を持ってお願いしています。児童会の大切な活動です。お知りおき下さい。



て完走できたことは大いに評価できることです。保護者のみなさまをはじめたくさんの方が子どもたちのがんばりに拍手をおくってくれました。そのことが子どもたちの完走へのエネルギーになったことでしょう。

応援ありがとうございました。

NHK和歌山が広小4年生を取材



十二月五日、NHK和歌山が広小学校4年生の社会科の授業を取材に来ました。四年生の社会科の教科書に「地域の発展につくした人々」という単元があつて、濱口梧陵のことが詳しく掲載されているのですが、NHK和歌山が津波防災と濱口梧陵に関する番組を作成するに当たり、子どもたちが濱口梧陵のことを学習している様子を取材したいという申し入れがあつて、この日はこびとなったものです。

四年生の授業は、落ち着いた雰囲気の中で行われることが多いのですが、さすがにこの日の授業は、テレビカメラのレンズが向けられていただけに、子どもたちもいささかというかなる緊張気味、担任の栗山先生ももちろん緊張したことでしょう。でも濱口梧陵の学習で、広村堤防のことに關わつて意見を求められたら、子どもたちはみんな積極的に手を上げて発言できました。緊張しながらもいい学習ができていました。授業後、六年生の子どもにもインタビューがありました。六年生は、五年生の時に国語科の教科書に掲載されている濱口梧陵のことを学習しているので、そのことについてのインタビューでした。

この日の取材による番組は、十二月十八日(火)午後六時からNHKの「あすのW.A」の中で放送される予定です。どんな内容になるか、今から楽しみですね。



ジュニア駅伝広川町予選会 正選手めざしてがんばりました

二月に開催される和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝に出場する広川町チームの選手を選出する予選会が行われました。広小から五・六年生男女合わせて十九名

が参加し、

みんなこれまでの練習の成果を発揮しがんばることができました。

結果、正選手枠である男子女子それぞれ上位四名に、広小学校からは次の三名が入り、正選手に選出されました。

片山叶くん(五年)



木下陽菜さん(六年)
江川陽菜さん(五年)
これから本大会めざして練習が始まります。広川町の代表として精一杯がんばって下さい。

自転車にのるときは ヘルメットをかぶりましょう

子どもたちは、放課後や休日に自転車で出かけることが多いと思いますが、自転車に乗るときは、万一の事故に備えてヘルメットを着用しましょう。

広小学校では、例年交通安全教室を開催し、自転車の乗り方等を中心に学習してきました。この学習を活かした日頃の安全に対する心がけにより事故を未然に防ぐことが大切ですが、事故が起きた場合に被害を最小限におさえるための配慮も大切です。

道路交通法で規定されている保護者の努力義務として、子どもたちが自転車に乗るときは、ヘルメットを着用させましょう。

